

学術講演会

「改正薬機法－その意義と実際」

参加方法 現地またはWeb聴講（参加費無料）

参加申込 参加をご希望の方は以下のQRコードまたはURLにて登録をお願いします。

定員 会場：120名、Web聴講：200名（先着順）

締切 令和7年6月30日（月）

令和7年7月7日（月）13:30-17:00
(受付13:00-)

熊本保健科学大学
1303M講義室

参加登録はこちら



<https://forms.gle/XTxZ7WhCzkzgeySx7>

アクセス

熊本保健科学大学

〒861-5598 熊本県熊本市北区和泉町325（JR鹿児島線 西里駅から徒歩6分）

※駐車場には限りがありますので、できるだけ乗り合わせまたは公共交通機関をご利用ください。

主催：熊本保健科学大学 品質保証・精度管理学共同研究講座

協賛：熊本大学大学院 生命科学研究部附属ワクチン開発研究センター

開会の挨拶 13:30-13:35

熊本保健科学大学 品質保証・精度管理学共同研究講座
蛭田 修

熊本県薬務衛生課長挨拶 13:35-13:45

熊本県健康福祉部健康局 薬務衛生課長
飯野 彬

02 15:00-15:50

医薬品医療機器総合機構
医薬品品質管理部
品質管理第二課 課長補佐
赤澤 恒軌

GMP調査制度の
合理化と生産性向上の
諸課題について

改正薬機法の 意義について

13:45-14:45

厚生労働省医薬
局 審査管理課長
中井 清人

01

休憩 14:45-15:00

改正薬機法等における
医薬品の安定確保策
について

熊本保健科学大学
品質保証・精度管理学共同研究講座
蛭田 修

16:10-16:40

04

熊本県における
GMP査察対応

15:50-16:10

熊本県健康福祉部健康局
薬務衛生課 主幹
八尋 俊輔

03

閉会の挨拶 16:40-16:50

熊本保健科学大学 生物毒素・抗毒素共同研究講座
高橋 元秀